

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。
どんなことにも感謝しなさい。
これこそ、キリスト・イエスにおいて、
神があなたがたに望んでおられることです。
(テサロニケ信徒への手紙I 5章16節-18節)



仙台白百合学園

表彰者一覧

Table listing various award winners across different categories such as sports, art, and academic competitions. Includes names and grades of students.





# 祝 卒業に寄せる言葉

保護者から

卒業生保護者 伊藤りつ子

## 卒業にあたり

仙台白百合学園中学高等学校

校長 藤田 正紀



ご卒業おめでとうございます。慣れた教室や環境を離れる今、卒業生の皆さんはどんな気持ちを抱いているでしょうか。中学三年生は九年間の義務教育の期間が終わり、自らの意志で次の教育を受ける立場になります。

「祈る心」「愛する心」「喜び心」をこれからも大切にしましょう。愛をもって他者のために奉仕することが自分自身を成長させ、ありのままを受け入れる気持ちで感謝と救いにつながることを忘れずに。そして祈ることで心を整え心を合わせるという習慣を保ってほしいと思います。十年後、二十年後に振り返った時、白百合での日常生活で学んだことが育ち、花開いている、実を結んでいるという実感が持てるはずですよ。

ことを祈念して、次の言葉を贈ります。

いつも幸せなほほえみを贈りなさい。あなたがたのこころを贈りなさい。 (マザー・テレサ)

## 卒業を迎えて

卒業生の言葉

### 感謝の日々

高校三年生 杉田 琴音



学園生活はあっという間に過ぎ去り、もう卒業を迎えることになりました。学園生活を振り返ると、私は朝礼での衝撃を今でもはっきり思い出します。

静粛、聖歌、お祈りをすると朝礼は私が想像したこともない出来事で、神聖な気持ちで、「いつかこのなんたなと心が震えた覚えがあります。その素晴らしい朝礼を三年間受け、感謝する習慣が自然と身につきました。感謝することが習慣になっていくにつれて、今までは気にも止

めていなかった振る舞いに目が届くようになり、ありがたいと思う幅が広がりました。些細な事にも喜び、感謝する習慣はマザー・テレサの言葉にもあるようにいつか性格になり、運命に繋がると信じています。

そして、仙台白百合学園での高校生活の中で、先生方から学ぶことも多くありました。ある時先生が「思いやりとはどれだけの人のために時間が割けるかどうかで余裕がある時だけに気づくのは氣遣いとは言わない」ということを話していただきました。その話で大変な時こそ余裕を持つ大切さを考えるようになり、ボランティア活動や街頭募金など、自分も成長できる経験を積極的に参加するきっかけに繋がったと感じています。

このように成長できたのも私たちがここまで育て、入学させてくれた両親を支えてくださった先生方、職員の皆さま、友達兄弟のおかげです。これからは自分たちの行動が人様の活動力に繋がるような影響力のある大人へと成長できるよう、精一杯自分の選んだ道で努力します。最後に、白百合学園での学び、人との出会いに心から感謝します。ありがとうございました。

このままで娘たちを導いてくださいました。校長先生、諸先生方、学園関係の皆様本当にありがとうございました。

仙台白百合学園の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

すべての卒業生の前途が幸多からん

## 定年を迎えて

### 定年を迎えるにあたって

中学高等学校教諭 金谷 裕治



平成の時代は、初めて就職してから年金生活に入るまで、何度か職場を変えることが珍しくない時代になりました。私が就職した昭和の時代は、まだ日本社会(企業)に終身雇用制度というものが残っていたように思います。私の場合は就職する時に、必ずしも定年まで働く、という決意があったわけではありません。自分がどれだけやれるか未知数だし、自分に合うかどうかもわからなかった。私の同級生たちと同様に北海道に戻って就職する選択もあったかもしれないが、とりあえず「石の上にも三年」といつまでも仙台に残ったのです。一年、二年とやってみて、これでもいいのかと自問することもありました。三年目、授業・部活・クラスや学年の生徒との関わり、生徒会関係の仕事を行っているうちに、もう少し頑張ってみようかと生徒たちに背中を押されたように感じました。その時、そのような生徒たちに出会えたことは運が良かったと思います。それから一年の積み重ねで三十数年、今日こまで来ることができました。

部活顧問は卓球・ソフトボール・放送部を経験しました。他校の顧問、先生方や、その業界の方々からたくさんのお話を教えていただき、顧問として自信をもって指導し、それなりの結果を残すことができたと思っています。

教科・学年の都合で海外研修の引率も任せられ、アメリカ・オーストラリア・ニュージーランド・韓国・ポーランド、で貴重な経験をさせて頂きました。

高校の学年に所属している時は、中学校当時の生徒の様子が変わらない状況で指導しています。中学校の

学年にいると、自分が担当した生徒が中学校から高校でどのように成長し、卒業して行くかを陰ながら見守ることが出来ます。そしてその成長を見るのが嬉しいのです。

四月から講師となりますので、ある意味ほっとする反面、授業以外の生徒との関わりが少なくなるのが少し寂しいと思う今日この頃です。

## 「白百合ファミリー」に支えられて

小学校教諭

木村 悦子



八戸のカトリック小学校より仙台白百合学園へ転任してからの二十年間はまさに光陰矢の如し、ひたすら走り続けていた日々のような気がします。でもどんなに忙しくいっても、神様の御許で働ける喜びを感じ、教室や廊下に行むマリア様の眼差しに励まされ、これほど幸せなことはないと思います。定年まで勤務できたのも、校長先生を始め多くの先生方や子どもたち、保護者の方々も含めた「白百合ファミリー」のご協力・ご支援があったからこそ感謝の気持ちでいっぱいです。

最も印象的だったのは、平成二〇年の若手・宮城内陸地震で、一週間後に控えていた四年生の花山合宿が宿泊施設の被災のため中止となったときのことです。どうにかして合宿経験を子どもたちに…と先生方と奔走し、三か月後にはマリアハウス宿泊、泉ヶ岳登山、秋保での川遊び・体験学習・温泉など、二泊三日のオリジナルの合宿を実施しました。最終日には校庭で小さなキャンプファイヤーを囲み、保護者の皆様の手作りバーベキューも堪能させていただきました。感謝とともに「白百合ファミリー」の固い結束を感じたことを覚えて

います。

その後の東日本大震災という大きな苦難も乗り越え、令和の新時代を迎えた仙台白百合学園のますますの発展を心より祈っております。長い間、本当にありがとうございました。

## Message

この冬は、例年になく暖冬で過ごしやすき日が続き、一足早く紫山キャンパスでも春の息吹を感じられる頃になりました。周囲の自然環境も本日の高校三年生の卒業を祝福するかのように、勢いよく芽生え始めています。

本日、三月二日に第七十二回卒業式が行われ、高校三年生一七名が晴れて卒業しました。生徒の皆さん、保護者の皆様ご卒業おめでとうございます。在学中は、勉強に部活動、生徒会活動や諸活動に励み、喜びや悲しみ、孤独感や連帯感を感じ、忍耐を身に着け、苦難を乗り越えて達成感すら感じることもあったと思います。朝礼で時々朗読される「リント人への第一の手紙の一節を思い出してください。大きな心の支えになりましたね。苦難に出くわしても、決して慍く必要はありません。神様は乗り越えられない試練は与えないのです。この一節をその体験はこれからやってくる新しい生活を過ごすうえで、大きな宝物になることを祈ります。

苦難を乗り越えることができたのは、知らないうちに助けられ、何度も何度も助けられてきたからです。それはこれからもそれは続きます。チャレンジしたいことがあったら、チャレンジしてください。何もしないで後悔はしたくないですね。

卒業生の皆さんに、私の好きな聖句を送ります。「求めよ、探せ、門を叩け」。これはマタイによる福音書の七章七節に書かれてあるものです。果敢にチャレンジして、素晴らしい人生を歩んでください。

Good Luck!

## 令和元年 アヴニール(未来)募金のご報告

下記の皆様におかれましては、仙台白百合学園に対し深いご理解のもと、ご寄付を賜りましたことに対して、深く感謝の意を表します。

- 寄付総額 **4,890,000円**
- ご協力頂いた皆様
- 小笠原 幸子 様
  - 柏葉 光正 様
  - 鎌田 正徹 様
  - 川村 地健 様
  - 菊地 誠太 様
  - 久慈道 藤信 様
  - 工藤 野洋 様
  - 今野 幸一 様
  - 藤原 啓太 様
  - 藤村 聡幸 様
  - 稲澤 博幸 様
  - 牛島 竜太郎 様
  - 遠藤 龍太郎 様
  - 佐田 白木 様
  - 菅野 鈴木 様
  - 鈴木 高橋 様
  - 高橋 橋内 様
  - 竹内 陽文 様
  - 鏡里 香文 様
  - 里香 文行 様
  - 鏡 寿行 様
  - 鏡 寿行 様
  - 藤田 井木 様
  - 白井 木橋 様
  - 菅野 鈴木 様
  - 鈴木 高橋 様
  - 高橋 橋内 様
  - 竹内 陽文 様
  - 鏡里 香文 様
  - 里香 文行 様
  - 鏡 寿行 様
  - 鏡 寿行 様
  - 武田 千茶 様
  - 田中 野屋 様
  - 土田 潤希 様
  - 沼田 真智子 様
  - 根
  - 重島 光 様
  - 島野 屋々 様
  - 田中 潤希 様
  - 沼田 真智子 様
  - 根
  - 半井 野中 様
  - 日野 井形 様
  - 山形 田浩 様
  - 吉田 浩 様
  - 米
  - 樹美 介夫 様
  - 裕唯 高み 様
  - 由利 高み 様
  - 野中 田浩 様
  - 米

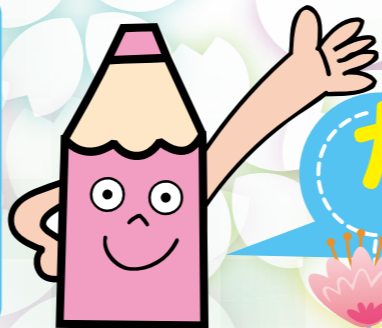
※上記の皆様以外にも多くの方々からご寄付を賜りましたが、ご芳名の記載を希望されなかった方のお名前は掲載していません。

令和二年 アヴニール(未来)募金につきましては、令和2年4月1日(水)から12月11日(金)の期間で受け付けさせていただきます。HPや学園報等でお知らせ致しますので、皆様のご協力をどうぞ宜しくお願い申し上げます。





# かみさまあのおね



♥かみさまあのおね、ぼくはおしごとが大好きです。せいめいのひょう、いろみずじゅけん、カップケーキのおしごとがたのしかったです。  
(たけふ)



♥かみさまあのおね、私はワロスステッチのおしごとがおもしろかったの。おにわであそんだこともおもいでです。しょうがっこうではさんすうをがんばれますように。  
(なかい ゆり)



♥かみさまあのおね、おとまりほいくでみんながとってもいっしょにとまったことがたのしかったですよ。これからなわとびのれんしゅつをがんばってたくさんへますように。  
(ますや ようすけ)



♥かみさまあのおね、ひいおばあちゃん、おじいちゃん、おばあちゃん、パパ、ママ、おにいちゃん、むっちゃん、いぬのなみことロビン、がぞくずつとげんきでいられますように。  
(なかせわ ゆの)



♥かみさまあのおね、ぼくはなんでもたべられるようになりたいんだ。だからにがてなやさいをたべられますように、かみさまおねがい。  
(もす のあ)



♥かみさまあのおね、しょうがっこうにいったら、ともだちがでるから、いっしょに遊べるよ。いっしょに遊んで、いっしょに笑おう。  
(かさい えい)



♥かみさまあのおね、だいすきななわとびのおもちゃ、だいたいすきななわとびのおもちゃ、だいたいすきななわとびのおもちゃ、だいたいすきななわとびのおもちゃ。  
(すがわら ひまり)



♥かみさまあのおね、ホワイエでおまごをいっしょにあそんで、いっしょに遊ぶのがたのしかった。しょうがっこうでいっしょに遊ぶのがたのしかった。  
(ちちや みつこ)



♥かみさまあのおね、ようちえんのおもちゃ、えほん、たけのこ、いっしょにあそぶのがたのしかったよ。  
(かごう はやみ)



♥かみさまあのおね、しょうがっこうにいったら、みんながたのしく遊んでくれて、いっしょにあそぶのがたのしかったです。たかはし さえこ



♥かみさまあのおね、なわとびがたのしい。いっしょにあそぶのがたのしい。いっしょにあそぶのがたのしい。いっしょにあそぶのがたのしい。  
(こしむら たくま)



## 年長児にインタビュー

**今後の行事予定**

- 4月25日(土).....園庭開放
- 5月16日(土).....園庭開放
- 6月12日(金).....保育見学会
- 7月4日(土).....園庭開放
- 8月30日(日).....学園祭
- 9月19日(土).....園庭開放
- 9月26日(土).....運動会

●10月3日(土).....入園説明会  
●10月10日(土).....園庭開放  
●10月15日(木).....保育見学会

※変更の可能性もありますので事前にお問い合わせください。

●事前にお電話かメールでお申し込みください。皆様のご参加をお待ちしています。  
TEL022-777-6777 office3@sses.jp

ロンちゃんBlogもご覧ください。  
http://kd.sendaishirayuri.net/



**2歳児クラスのお知らせ**

2020年度は4月8日スタートです!

未就園児のお子様を対象に、おしごとや製作をしたり、親子で体を動かし楽しく過ごします。時間は週1回水曜日の9時30分から10時30分です。先生やお友達と一緒にいろいろな発見をしてみましょう!詳しくは幼稚園に直接お問い合わせ下さい。

**おしごと紹介**

その24 **日本地図**

年長児の好きな活動に地図があります。

きつと家庭でも「この国はどこにあるの?」など様々な質問をしてあげることがあるのではないのでしょうか。子ども達は知的好奇心旺盛ですから、ニュースを通して日本でおきている出来事や、他国の話にも耳を傾け色々なことを知りたくてたまりません。その文化の吸収に対して大人も感心を持つことが大事です。地図には世界地図、大陸別の地図、日本地図などがありまますが、どの活動も園生活の中で学んだことを土台として取り組んでいます。特に、日本

地図は地方別のパズルを使って名前や位置を覚え、更に特産物を知ることができ、更に感じることもできます。子ども達も自分が小さいころに住んでいたところだったり、旅行で行った体験が記憶として残っていることもあり話をしてくれる子どももいます。また、ある地方で地震や災害があったことを知ると、たとえ見えないところであっても、困っている方々に対して祈っている様子もみられます。モンテッソーリは「小さい子に世界を与えない。」と言っています。未来を担う子ども達が自分の住む地球を愛し思いやりや、やさしい心を友達や世界の平和のために繋げていけるよう願わずにはいられません。



# 小学校

Elementary School

## 祈る人たちに向けて〜ミッション校で学ぶ意味〜

小学校校長 渡辺 瑞穂



六年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。旅立ちの時、皆さんの心には相当な覚悟があることと思います。皆さんの未来に幸あれと、心からエールを送ります。

六年間、様々な学びを重ねてきた中で、考え、捉える視点は、世界規模の課題に広がってきたはず。今年度は特に、その学びを深めた年だったでしょう。

昨年十一月、教皇フランシスコが来日されました。来日のテーマとして伝えられたメッセージは「すべてをいのちを守るため〜PROTECT ALL LIFE!」でした。

同じ月、あなたたちは、修学旅行でユニセフハウスを尋ねました。事前学習をして、世界中の困難な状況

にある子どもたちの様々な問題を知っていましたが、改めて多くを学んだことと思います。

そして、同じ時期の社会科の学習では、SDGsを学習のテーマとしました。二〇二五年九月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための二〇三〇アジェンダ」に記載された二〇二五年から二〇三〇年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための一七のゴール・一六九のターゲット…。

Sustainable Development Goals: その理念として発せられた宣言は「誰一人として取り残さない〜No one will be left behind.」でした。

卒業の年、ユニセフ、教皇来日、そしてSDGsと連なった学び。そこで知ったことは、カトリックのミッション校であるこの学園で学ぶことの意味に重ね、心に刻まれたはず。

年に何回か、全校生でロザリオのマリア聖堂で祈る機会があります。

その時、必ず伝えることがあります。

「今、ここで、何の不安も妨げもなく、祈れることの幸せを思いましょ。う。どれだけいたくで恵まれているかを思いましょ。そして、祈りの強さと導きを信じられる人となりましょ。」

皆さんは「祈る人」となるために、この学園で学びました。

これからも続く学びで知る世界規模の課題にどう向き合っていくか。その始まり、そして答えはここにあり。祈ることは、自分の為であること、それ以上に他者を思う、人を思いやる心です。

本校が学ぶ目的としていること、「神様の教えに従って心を見がき、知識を豊かにし、いつでもどこでも正しいことを求め、愛の心にあふれて世界の人々のために働ける人となること」をいつも心に。

あなたたちが、「世の光 地の塩」となる一人でありましょ。

## 卒業の一句

### 六年桜組

運動会 負けても仲間と はげましあう	安部 千代
友達と たくさん笑い 泣いた日々	荒 瞳子
小学校 残りの時間を 笑いと	板橋 由依
発表会 生きてくことの 大切さ	市川 りよ
忘れない 自然と愛の 白百合を	大中ひかり
忘れない 鐘の音響く 学び舎を	金子 奈央
三月に 新たな扉 開きゆく	菊池 結愛
忘れない 愛と勇気 これからも	佐藤 七海
筆入れは 時間と共に 色あせて	佐藤 真桜
友達と 笑った日々に さようなら	鈴木さくら
学園に 聖堂の鐘 鳴り響く	千葉 絢葉
古き友 また会う日まで さようなら	千葉 舞波
思い出と 愛と笑顔の 教室を	土居きよら
学園に 思い出残して 去る自分	林 茉央
教室の 見慣れたすがた 思い出す	平野 真帆
ベランダの 景色もだんだん 春になる	藤本 知子
小学校 美しすぎる 成長記	古川 亜見
友達と お祈りをする 神様に	三岡 茉央
体操着 しみた汗は 努力かな	宮本 双葉
空の下 友の笑顔に なみだ散る	山田 奈央

### 六年菊組

先生に 言いたい言葉は ありがとう	浦澤 和暖
聖堂に 響きわたるよ ハンドベル	大貫はるな
待ち望んだ 六年生も あと少し	柏木 凜音
みんなとの 思い出がふと よみがえる	菊地 愛未
日に増える 友の思い ふと気付く	熊谷 百奏
友達と 笑ったしゅん間 よみがえる	坂口 絢音
校訓は 白百合のもの 大切に	佐々木 空
友と行く 修学旅行は 思い出だ	佐々木風樺
旅立つ日 高いかべを 越えたんだ	佐々木麻有
ランドセル 六年一箱に 登下校	佐々木夕愛
友達と 楽しく踊った ベランダで	佐藤 心萌
手を挙げて 新たな時代 飛び立とう	佐藤 七織
聖堂に みんなの祈り ひびく声	佐藤 桃花
ランドセル 思い出全部 つめこんで	清水 明衣
ベランダで 歌っておどる 友達と	鈴木 碧乃
人として 成長できた 六年間	東條 心菜
一段ずつ 大人の階段 のぼっていく	成田 聖菜
笑いあった あの日の思い出 よみがえる	ニールソン美香果
友達と 刻んだ思い出 歌に乗せ	日野 未悠
思い出よ いつの日までも 忘れずに	室井 和佳

## 6年間の思い出



1年 はじめての遠足



2年 スケート教室



3年 運動会



4年 枝豆収穫(加美町)



5年 学習発表会



6年 修学旅行

### 街頭募金



十一月三十日、冷たい風が吹きすさぶ中、街頭募金がおこなわれました。ホープ(奉仕委員会の児童が中心となり、仙台駅近くの水晶堂前、三越前、泉中央ビル、そして紫山タピオ内の四ヶ所で、声を合わせて募金を呼びかけました。

### 子どもの感想

こんな短時間でも、たくさんの人々に、苦しい暮らしをしている子ども達のことをわかっていただくことができ、感動しました。小さな子どもからお年寄りの方まで、募金してくださいと、とてもうれしかったです。

(六年 室井和佳)

わたしたちの言葉が、通りすがりの人の心に伝わって、たくさん募金をいただきました。メンバーのみんなも、寒い中、がんばって、それを応援してくれる人たちもいて、うれしかったです。

(六年 平野真帆)

収益金は、ユニセフを通し、発展途上国の子どものためにもへ送られます。

### クラス対抗百人一首大会

一月三十日、第十四回クラス対抗五色百人一首大会の優勝決定戦が行われました。

低学年、中学年、高学年のそれぞれの代表である二年桜組、四年菊組、六年菊組の三クラスによる決定戦です。結果は四年菊組が、二年桜組と六年菊組をくだして優勝しました。

春過ぎて 夏来にけらし 白妙の衣干すてふ  
天の香具山 (持統天皇)

### カリタスの丘 慰問コンサート

十二月三日、弦楽合奏団と合唱クラブの児童が仙台白百合女子大学に併設された高齢者福祉複合施設カリタスの丘で演奏会をおこないました。演奏後、五年生の手作りのクリスマスカードをプレゼントし、お年寄りの方々の交流を楽しみました。





### 長崎研修旅行 … 12月4日～7日 …



今回の研修旅行を通して、自然や歴史に触れ、たくさん学ぶことができ、とても充実した4日間になりました。  
1日目の浦上天堂では、被爆のマリア像を見て、原爆の恐ろ

しさを感じました。次に訪れた平和公園では、平和のシンボルである平和祈念像の前で、心に強く平和を願いました。

2日目、日本二十六聖人殉教地見学と班別研修がありました。日本二十六聖人殉教地に建てられた記念碑を見て、とても心が苦しくなりました。13歳の子どもでさえもキリスト教の信仰を貫いて亡くなったと聞いて、とても感慨深いものがありました。

3日目、聖母の騎士修道院ではコルベ神父の毛髪を見ることができ、遠藤周作文学館では、その生涯について触れました。私は映画「沈黙」を観ていたもので、とても興味深かったです。

4日目、吉野ヶ里遺跡と太宰府天満宮、九州国立博物館に行きました。初めて本物の遺跡を見ることができて、とても楽しかったです。

この4日間は私たちに与えられた学びはより深いものとなりました。そして長崎の歴史を通して、人間の犯した罪の重さにも気づき、これをどのように世界に伝えていくべきかを私たちが考えなければいけないと思いました。

高校2年 中村 美音

### LEコース カナダ1年間留学報告

私はカナダのオンタリオ州にあるケノーラという人口15,000人の小さな町へ交換留学していました。短期留学経験は何度かあったものの、1年間留学をすることは16年間の人生の中で自分への最大の挑戦でした。決して楽しいことばかりではなく、辛かったこと、日本を恋しく思ったことも少なくありません。しかし、それを乗り越えられた時の達成感はこの上ない喜びでした。このような苦難に立ち向かえた勇気と、乗り越えるのに支えとなったのは「白百合」そのもので、それは私の中で大きいものでした。お世話になったLEコースの先輩方や日本で待っていてくれる家族、友達、先生方の顔を思い出すたびに「この留学は絶対に成功させたい。後悔したくない。」と感じて日々目標に向かって頑張ることが出来ました。感謝申し上げます。これからも日々勉強に励んでまいります。

高校2年 沼田 晴凧



お世話になったホストファミリーの方々です!

▲留学先の仲間と一緒に

#### 保護者の方より

留学は困難を体験しに行くことだといえます。娘は大自然のカナダで様々な困難に挑戦し乗り越え、沢山の友人を作り交換留学生としての役割も果たせたようです。改めて併設小学校から学んできた白百合の英語・国際教育が娘の基礎となり、LEコースの仲間と無事に留学を終えたことに感謝いたします。留学を支えてくださった全ての皆様ありがとうございました。

### ポーランド留学生来校 2019.12.8~21 日本語学校生徒9名来校 3か月留学生1名含む



私が受け入れたマグダレナさんは、昨年3月に私がポーランドへ友好訪問した際のホストシスターです。当時から日本にとっても関心があり、沢山会話をしたり質問されたりしたのを覚えています。

今回、ポーランドの文化や歴史、経済など様々な分野の話を知ることができ、現状を知ることや現地の人の声を聞くことができました。一緒に生活する中で、文化や習慣の違いを感じることもありましたが、多様性を尊重することの重要性を同時に学ぶことができました。私の未熟な英語にも耳を傾けてくれ、私自身も少し成長することができました。短い期間でしたが、楽しく爽やかな時間を過ごすことができました。

高校3年 原田 真羽

### フィリピン・ボランティア・スタディー・ツアー 2020.1.5~17 ～今回で10回目～

#### スタディー・ツアーに参加して

私たちは12日間のフィリピンボランティア・スタディー・ツアーに参加しました。途中、火山の噴火で日本に帰ることができないかもと心配されましたが、校長先生をはじめ沢山の先生方、関係者のおかげで予定通り帰国することが出来ました。

フィリピンでは一日5回食事の時間があり、水道水を飲むことができないなど驚くこともありましたが一週間ほどで慣れることができました。姉妹校のセントポールカレッジ・パッシング校での授業は同じクラスの友達が皆フレンドリーでやさしく接してくれて、とても楽しい授業を受けることができました。放課後や週末にホストシスターや友達とモールで買い物も楽しみました。日常生活では私の英語がなかなか伝わらず辛いこともありましたが、充実した忘れられない時間を過ごすことができました。

高校2年 土井 萌花



「目が澄んでいけば、あなたの全身が明るく、濁っていれば全が暗い」(マイ六章 二十一〜二十三)という聖句からこれは自分の気持ちもそうだと思います。自分の気持ちが明るければ自分の雰囲気も明るく見えるだろうし、自分が暗い気持ちならば自分は暗く見えると思います。私はこの聖句からクリスマスはイエスの降誕を祝う日なので明るい気持ちでほめたたいえようと考えました。また、周りの人も明るく楽しんで気持ちで待降節を過ごしたいと思います。

みことばカルタ  
中学一年 櫻井 裕希

みことばカルタ作りを通して班の人のきずなも深まり有意義な時間を過ごせました。

この4日間は私たちに与えられた学びはより深いものとなりました。そして長崎の歴史を通して、人間の犯した罪の重さにも気づき、これをどのように世界に伝えていくべきかを私たちが考えなければいけないと思いました。

キャップハンディ体験  
中学二年 廣瀬 ほなみ



今日、キャップハンディ体験をしてみて、目が不自由な人の思いや考え、大変さを学びました。点字体験では、

私は街頭募金を通して、人の心の温かさに改めて気づかされました。募金をしてくださった方々の中には「頑張っているね」「寒いから体調崩さないようにしてね」など優しい言葉をかけてくださる方もいて、心が満たされていくのを感じました。

街頭募金を通して  
中学三年 柴田 明枝



たくさんの方々のご協力に心から感謝します!!

この街頭募金に感謝しています。私たちが呼び掛けて集まったお金が誰かのためになると考えると、とてもうれしく、これからも誰かの為になるようなことを自ら進んで行動したいと思えました。募金して下さった方々の温かい思いやりがたくさん入った募金箱は、とても重く感じました。



表彰者一覧

<p>第七十三回宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (毛筆の部)</p> <p>部会長賞 三石 咲花 特選 金子 奈央 金賞 佐藤 葉音 銀賞 南部 結衣 銅賞 佐藤 陽和 木村 真帆 平野 真帆</p>	<p>令和元年度 大会・賞・受賞者</p>
--	-----------------------

<p>令和元年度 宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (硬筆の部)</p> <p>部会長賞 金子 奈央 特選 千葉 絢菜 金賞 菅原 菜夏 銀賞 石橋 来花 銅賞 佐藤 陽和 諸橋 凜 速藤 采音 井藤 沙帆 木村 理子 浦澤 和暖</p>	<p>令和元年度 大会・賞・受賞者</p>
--	-----------------------

<p>令和元年度 宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (毛筆の部)</p> <p>部会長賞 金子 奈央 特選 金子 奈央 金賞 佐藤 葉音 銀賞 南部 結衣 銅賞 佐藤 陽和 木村 真帆 平野 真帆</p>	<p>令和元年度 大会・賞・受賞者</p>
---	-----------------------

<p>令和元年度 宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (硬筆の部)</p> <p>部会長賞 金子 奈央 特選 千葉 絢菜 金賞 菅原 菜夏 銀賞 石橋 来花 銅賞 佐藤 陽和 諸橋 凜 速藤 采音 井藤 沙帆 木村 理子 浦澤 和暖</p>	<p>令和元年度 大会・賞・受賞者</p>
--	-----------------------

<p>令和元年度 宮城県小・中学校児童生徒書きぞめ展覧会 (毛筆の部)</p> <p>部会長賞 金子 奈央 特選 金子 奈央 金賞 佐藤 葉音 銀賞 南部 結衣 銅賞 佐藤 陽和 木村 真帆 平野 真帆</p>	<p>令和元年度 大会・賞・受賞者</p>
---	-----------------------

おめでとう

表彰者一覧

昨年度の三月(日)日に掲載が間に合わなかった表彰者も、今回あわせて掲載しています。それについては旧学年の表記になっています。今年度の表彰者は一月末日現在のものです。

令和元年度 SGHプログラム活動報告

SGHサーバント・リーダーとの出会い



2019年11月22日(金)オーストリアよりIPP常子(イップ・つねこ)さんをお招きし、『光子・クーデンホーフ・カレルギー伯爵夫人の軌跡』と題し、LSコースの1・2年生を対象にオーストリアで活躍された女性について講演。常子さんはオーストリア政府公認の通訳・ガイドをされており、過去2回、本校で講演されています。

私は光子さんの人生から、GSL(グローバル・サーバント・リーダー)にとって大切なことを大きく分けて2つ学んだ。1つ

目は、光子さんの激動の人生のスタートとなった、馴初めの場面から。怪我をしたハインリヒの横を無言で通り過ぎた人と光子さんの違いは、言い換えれば、何も起こさない人と何かを変革できる人との違いは、先入観に縛られずに弱い立場にある人に寄り添えるかどうかである。当時の日本人の多くは外国人の事を『異質なもの』と捉えており、同情の気持ちを持つことは程遠い。しかし、光子さんはその壁を乗り越えた。聖書の『善きサマリア人のたとえ』から考えれば、光子さんは困っているハインリヒの『隣人』になったのだ。2つ目は、国際結婚をした光子さんがオーストリアで受けた処遇から。自分は目の前の人のことを所属する集団で決めつけないと思っても、周りの全ての人々がそうとは限らない。大切なのは、自分が集団の一部として見られることに屈せず、むしろその集団に対して多くの人々がマイナスなイメージを、自分が変えようと思う事だ。私は光子さんの生き方から学び、世界の舞台で活躍する人になれるよう努力したいと思った。高校生の今から多様な考え方に触れ、様々な立場の人と話し、多くの課題に挑戦し、その経験を将来に活かしたいと思う。

(2年 佐倉田綺羅)

文部科学省主催 SGH全国フォーラム



2019年12月22日(日)東京国際フォーラムを会場に、全国のWWL・SGH校等から約250名が参加し、英語によるポスターセッションを開催。本校からはロヒンギャ難民への教育支援をテーマに、日めくりカレンダーによる教育教材を開発した2年生の4名(廣瀬ひより、大住有加、大泉絵莉、高橋櫻)が参加しました。発表概要は以下です。このチームは3月21日(土)に行われる探究甲子園(本選)にも出場します。

難民化したロヒンギャの経済的自立や負の連鎖を断ち切るためには、教育が必要と考えた私たちは、有識者との懇談を経ながら、子供たちが楽しんで学べる『日めくりカレンダー(学習教材付き)』を開発した。この教材は、2019年12月に、ミャンマーのアウン・ティン平和学校と国連の創設した学校、また在日ロヒンギャの学校に届けることができた。今後は、子供たちの学びの様子を把握しながら、教材の改良を行いつつ多くの場面で発信しながら、他国への応用を考察したい。

仙台市防災功労表彰 受賞  
防災・減災に関する探究活動

「減災パンフレット 英語版・中国語版」 開発・普及

「災害時 高校生ができること」 開発・普及

低学年向け 減災・防災絵本等 開発・普及

本校を代表して▶  
土屋 文乃・齋藤瑠璃花 両名が授賞式に参加

2020年1月16日(木)仙台市副市長より仙台市防災功労表彰を受賞しました。これはSGHの5年間の中で、生徒達が行ってきた防災・減災に関する探究活動(外国人向け減災パンフレット英語版・中国語版、災害時高校生ができること、低学年向け減災・防災絵本等の、開発・普及に関する取り組み)が認められた結果です。授賞式には防災・減災に関する絵本の開発を行った2年生の班から土屋文乃さんと齋藤瑠璃花さんが参加しました。この班の活動は河北新報にも掲載され、東北放送ウォッチン!みやぎ(2月11日)でも放映されました。